

令和2年度

事務事業評価表 (令和元年度 の実績評価)

記入年月日
令和 2 年 4 月 21 日

事務事業名		学童クラブ運営事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	010101000446
						単独/補助	補助		
政策体系		政策体系上の位置付け						所属課	040201
総合計画の施策名		0101 子育て支援及び少子化対策の推進							児童福祉課
政策名		01 子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり						課長名	
施策名		01 子育て支援及び少子化対策の推進						グループ	子育て支援G
手段名		01 ①子育ての支援体制の充実						担当者名	
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	03	02	04	01	00	放課後児童対策事業		
						単年度繰返し (平成15年度~)			
						☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			
法令根拠 桜川市学童クラブの設置及び管理に関する条例									
【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)									

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>【事務事業の内容】</p> <p>学童クラブにおいて、小学1年生から6年生の児童は、家庭と同じような環境で、放課後の時間を安全に過ごすことができる。岩瀬・坂戸・南飯田・雨引・大国・真壁・樺穂・紫尾小学校の空き教室と羽黒小学校の敷地内の施設、菅根農村集落センター、谷貝分館の1ヶ所で行われている。指導員はローテーションを組み、各所で常に2名以上が指導にあたる。普段は放課後から18時まで、春休み・夏休み・冬休みは8時から18時まで活動。保護者は月額5,000円を支払う。(別途おやつ代2,000円)</p> <p>【事業費の内訳】</p> <p>報酬・賃金・旅費・需用費・役務費・委託料・使用料及び賃借料・工事請負費・備品購入費・負担金補助金及び交付金・償還金利息及び割引料</p>	<p>3月→新規・継続入所の受付・決定 指導員の雇用</p> <p>4月→補助金実績報告</p> <p>7月頃→計画作成、補助申請、夏休みの指導員の雇用・体制の整備</p> <p>10月頃→放課+後児童支援員資格研修への指導員派遣</p> <p>毎月→保護者負担金納付書の送付及び徴収、指導員報酬の支払</p> <p>学童クラブの運営、途中入所の受付</p>
(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移	

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
3月→新規・継続入所の受付・決定 指導員の雇用 4月→補助金実績報告 毎月→保護者負担金納付書の送付及び徴収、指導員賃金の支払	設置箇所数	ヶ所	10.00	10.00	10.00	10.00	0.00
	支援の単位	ヶ所	12.00	12.00	12.00	12.00	0.00
	延べ利用人数 (月別登録者計)	人	5,763.00	5,370.00	5,370.00	5,370.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
児童 (1年生から6年生)	児童数	人	5,763.00	5,375.00	5,375.00	5,375.00	0.00
	待機児童数	人	19.00	14.00	14.00	14.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
児童が安全に過ごせる	安全に過ごせた児童数	人	5,763.00	5,375.00	5,375.00	5,375.00	0.00
	仕事と子育てが両立できている世帯数 (市民アンケート)	世帯	132.00	126.00	126.00	126.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		30年度	01年度	02年度	期間限定 総投入量		
		(実績)	(実績)	(計画)			
投入量	事業費内訳	国庫支出金	千円	5,476	5,476	5,476	0
		県支出金	千円	5,476	5,476	5,476	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0
		その他	千円	21,920	21,920	21,920	0
		一般財源	千円	5,478	24,739	23,005	0
	事業費計 (A)	千円	38,350	57,611	55,877	0	
	正規職員従事人数	人	3.00人	3.00人	3.00人		

01年度事業費 実績 (千円)		02年度事業費 予算 (千円)	
01 報酬	48,909		
07 賃金	2,284		
09 旅費	1,601		
11 需用費	1,206		
12 役務費	642		
13 委託料	236		
14 使用料及び賃借料	698		
15 工事請負費	1,795		
18 備品購入費	240		
合計	57,611	合計	55,877

事務事業名	学童クラブ運営事業	事務事業No.	10101000446	所属課	児童福祉課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 民生委員児童委員から要望があり、平成15年より開始。現在は、市内すべての小学校区に学童クラブを設置し運営している。平成27年度より、対象年齢が小学生全学年になり、子育てクラブから学童クラブへと名称変更をした。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 利用者から、開所時間を延長してほしい等の意見がある。					
【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。					

評価項目	
現状維持	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 保護者は子どもを預け、放課後を安全に過ごすことができる場所があることで、安心して仕事に従事できるため、子育て支援に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 安心して子供を育てられる環境を市として整備していく必要がある。仕事と子育ての両立を支援するため、放課後の児童の安全を確保することは、市の施策として妥当である。
有効性	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 指導員の不足により、満身に配置できていない。
	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 子育て世帯の就労に影響する。
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input checked="" type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 放課後子ども教室事業 <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる 生涯学習課との連携
効率性	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 指導員は一般非常勤職員であり、近隣自治体では専門業者への業務委託や、常勤職員の配置も進んでいるため、事業費は増加傾向。職員は入退所受付、補助金申請、10ヶ所のクラブ管理のための移動時間などもあり、業務時間は短縮することができない。
公平性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市内全小学校区に学童クラブを開設しており、公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)																								
(1) 1次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括 (振り返り、反省点) 平成29年度においては、平成30年度からの真壁小学校と紫尾小学校の統廃合による、桃山学園開設に伴い、桃山学童クラブを整備した。桃山学園内に開設できたことにより、入所者の利便性が保たれ、児童の通所への危険もなくなった。																							
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 (複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加					○										
成果	向上 維持 低下			コスト																				
		削減	維持	増加																				
				○																				
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ②																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項	
(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>